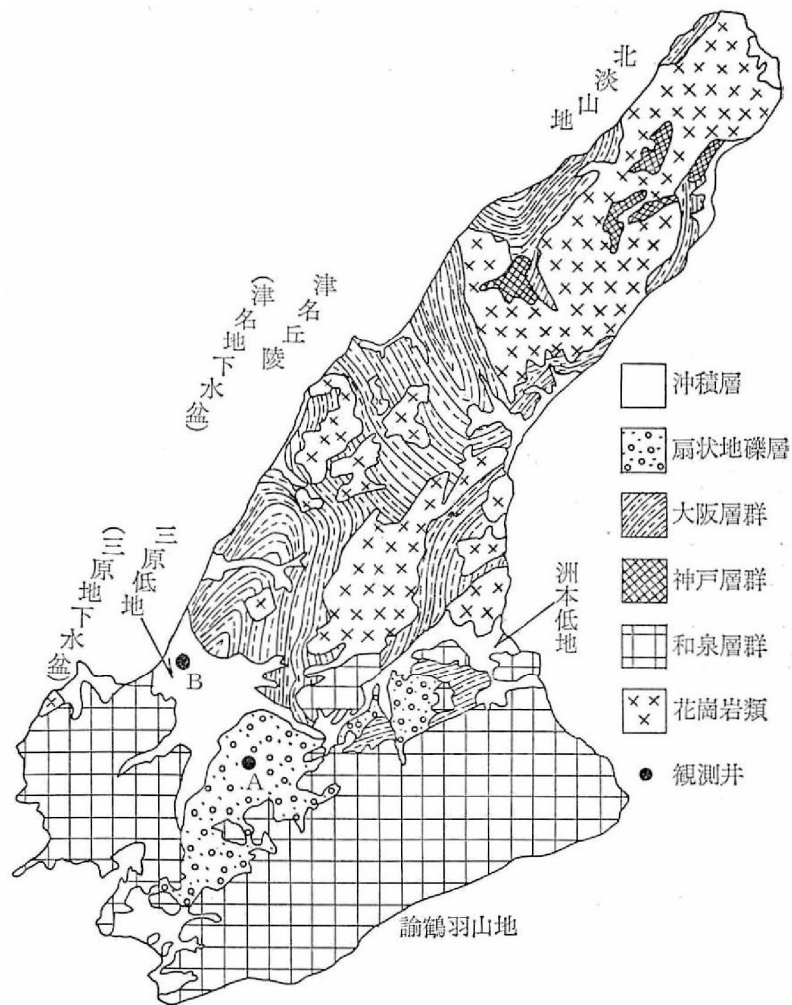


地形・地質

淡路島の地形は、南部の諭鶴羽山地、中部の津名丘陵、北部の北淡山地と三原低地と洲本低地に区分されます。淡路島には基盤の凹部や谷を埋める形で、ほぼ全域に大阪層群が分布し、低地部に扇状地礫層や沖積層が重なる地質構造となっています。

地下水

大阪層群中には有能な被圧地下水が賦存しますが、その量は場所によって著しく異なります。扇状地礫層や沖積砂礫層中には、比較的豊富な不圧地下水があり、特に扇状地礫層中には、「暗溝」または「土管」と呼ばれる集水暗渠が無数に存在します。



淡路島の地質図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）